

分会集会を開催し意思統一！ コロナ感染の危険にさらされた 組合員8名と共に闘う！

7月8日、J R 東海労働組合関西地区分会は集会を開催しました。コロナ感染防止対策を労務管理に利用され、関西新幹線サービック新大阪第一事業所へ出向中の8名の組合員がコロナ感染の危険にさらされた「自宅待機外し」について、J R 東海労働組合の組織的な闘いとして、第三者機関の活用を含めて取り組んでいくことを意思統一しました。

コロナ感染防止対策を労務管理に利用してのJR東海労働攻撃を許すな！ 地本定期大会で反撃の取り組みを要請！

7月5日、J R 東海労働組合新幹線関西地方本部定期大会が開催されました。関西地区分会選出の代議員は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、緊急事態宣言が発出されて以降のサービック新大阪第一事業所の「感染防止と業務運営の維持のため」を目的とした「業務量削減への対応について」に基づいた自宅待機が、労務管理に利用されて恣意的な「自宅待機外し」になっている経過を報告しました。

サービックの中で唯一、新大阪第一事業所だけが自宅待機時に課題を課すという理不尽な扱いを継続していること、さらにコロナ禍にあってコロナ感染の危険にさらすというあからさまな言動で「自宅待機外し」を行っている実態を発言し、J R 東海労働組合へかけられた攻撃に対する反撃の取り組みを要請しました。

サービックとの団体交渉が8月5日に開催！

6月18日に申し入れた団体交渉が、ようやく8月5日に開催されます。職場を混乱させている竹腰第一事業所所長と山崎科長（当時）のコロナ感染の危険にさらす「自宅待機外し」の言動について、「①実態把握し謝罪させること。②特定の数人への「自宅待機外し」を解消すること。③第一事業所だけがやらせている『課題提出』をやめること。④6月24日までに団体交渉を開催すること」をサービック本社に対して申し入れていました。

コロナ感染の危険にさらされた「自宅待機外し」の事実は、今後「自宅待機」が組合員に指定されようとも、その事実は消えません。明らかに組合員を狙った攻撃であることは自明の理であり、J R 東海労働組合は組織的に反撃していきます。